

# 平成31年度 学校自己評価システムシート ( 県立越谷南高等学校 )

目指す学校像	「文武両道」をとおして「知・徳・体」の調和を実現し、 目標を高く持って社会に貢献する人材を育てる学校
--------	---

重点目標	1 深い学びを実現する4つの力(分析力・行動力・思考力・表現力)の伸長を踏まえた授業改善を行い、学力の飛躍と難関大学等への進路を実現する。 2 規律ある生活態度と文武両道を継承・発展させ、高い目標を持った生徒を育てる。 3 外国語科の特性を生かし、国際性を育み、異文化理解を深めるとともに、語学力を高め、留学等に挑戦する意欲を育てる。 4 本校の教育活動への関心をさらに高めるとともに、地域との良好な関係づくりを進める。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】ほとんどの生徒が大学進学を希望し、意欲的に学ぶ意識が高い生徒もいるが、受け身の生徒も多い。	生徒が主体的に学ぶ授業改善を行う。	①授業改善のための教員研修会の実施(年2回) ②教員相互の授業見学実施(年2回) ③生徒による授業評価(学期1回)	②年2回見学率 ③生徒の満足度6割以上			
	【課題】主体的で深い学びを目指した授業をとおして学力を伸ばし高い目標に挑戦させる。	主体的に学び、高い目標に挑戦できる学力を育てる。	①手帳を活用した生活管理 ②模試・新聞等の活用	①自主学習時間が週10時間を達成する生徒6割以上 ②センター試験結果(昨年比+5%)			
2	【現状】落ち着いた校風で、生徒は学習と部活動の両立に努力しており、部活動実績も上げている。	余裕ある登校で遅刻と事故を防止する。	①8時30分登校の奨励と登校指導の実施(通年)	①遅刻率、事故数昨年比減			
	【課題】余裕のない登校での遅刻や交通事故も多い。学習時間の確保に苦労している生徒もいる。	部活動指針に沿った活動を行うとともに生徒の主体性を引出す活動を行う。	①年間活動計画の策定 ②休養日実態調査(年1回) ③部活動顧問のためのコーチング研修会の実施(年1回)	①計画作成率100% ②休養日の取得率(計画達成率) ③部活動顧問の満足度			
3	【現状】語学力が必要であると考えられる生徒は多く、外国語科の倍率も向上している。	4つの力を伸ばす場面を多く設定し、生徒の国際感覚を醸成する。	①留学生や交流団の受け入れや生徒による出前授業	①外国語科生徒の満足度85%以上			
	【課題】語学力の向上をさらに進めるとともに、国際感覚を養い、広い視野を持たせる必要がある		②外部講師等の講演会の実施 ③大学等へのスピーチコンテストや公開講座への参加 ④外部検定の活用	②講演会実施数 ③コンテスト等への参加数 ④GTECスコア1回目→2回目アップしたか			
4	【現状】ホームページでほぼ毎日情報を発信し、入試倍率も上がっている。吹奏楽部をはじめ、地域イベントへの協力等行っている。	地域との連携に全生徒、全教職員で取り組む。	①学校案内の工夫改善	①学校案内に工夫改善を行えたか			
	【課題】日々の教育活動に追われ、地域の要請に十分に答える余裕がない。		②出前授業等の実施 ③防災等での連携 ④学校説明会、中学校PTAによる高校訪問の充実	②実施回数の昨年比増 ③地域と非常時の連携ができたか ④学校説明会参加数、中学校PTA来校数、志願倍率等の増加			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	平成	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			